

令和8年1月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,662億円（対前年同月比19.9%の増加、比率ベース：4ヵ月連続の増加）、輸入総額は1,259億円（同4.1%の減少、5ヵ月ぶりの減少）であった。差引額は403億円（同5.4倍の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「原動機」、「科学光学機器」などは減少したものの、「二輪自動車類」、「自動車の部分品」、「重電機器」などが増加した。

輸入は「重電機器」、「その他の採油用種子」などは増加したものの、「金属鉱及びくず」、「無機化合物」、「大豆」などが減少した。

地域別では、輸出は「アジア」、「EU」、「アメリカ」が増加した。輸入は「アジア」、「アメリカ」が減少、「EU」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,662億円	+19.9%	1,259億円	▲4.1%	403億円	5.4倍
	4ヵ月連続の増加		5ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 二輪自動車類	187億円	+98.9%	輸入	増加品目	(1) 重電機器	61億円	2.0倍
		(2) 自動車の部分品	150億円	+45.3%			(2) その他の採油用種子	20億円	9.4倍
		(3) 重電機器	59億円	+60.2%			(3) 魚介類及び同調製品	188億円	+5.5%
	減少品目	(1) 原動機	161億円	▲21.0%		減少品目	(1) 金属鉱及びくず	8億円	▲79.0%
		(2) 科学光学機器	78億円	▲15.9%			(2) 無機化合物	2億円	▲91.6%
		(3) 金属鉱及びくず	23百万円	▲96.4%			(3) 大豆	16億円	▲52.3%
主要地域増減	アジア、EU、アメリカが増加			主要地域増減	アジア、アメリカが減少、EUは増加				

（参考）ドルレートは、156.91円（前年同月比0.2%、0.29円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	7億円	▲8.4%	27億円	+18.4%	▲20億円	+32.4%
	4ヵ月連続の減少		3ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 織物用糸及び繊維製品	15百万円	全増	輸入	増加品目	(1) 木材及びコルク	5億円	全増
		(2) 写真用・映画用材料	4億円	+3.3%			(2) とうもろこし	16億円	+10.5%
		(3) 無機化合物	58百万円	+25.9%			(3)	—	—
	減少品目	(1) 金属鉱及びくず	93百万円	▲50.8%		減少品目	(1) パルプ	1億円	▲46.5%
		(2) 精油・香料及び化粧品類	69百万円	▲19.0%			(2) 魚介類及び同調製品	26百万円	▲71.9%
		(3) プラスチック	14百万円	▲40.3%			(3) プラスチック	—	全減
主要地域増減	アジア、アメリカが減少、EUは増加			主要地域増減	アメリカ、アジア、EUは減少				

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	378億円	+53.2%	90億円	+37.1%	288億円	+59.0%
	5ヵ月連続の増加		14ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	178億円	+70.4%	輸入	増加品目	(1) 自動車	25億円	300倍
		(2) 自動車の部分品	75億円	+34.9%			(2) 有機化合物	1億円	3.6倍
		(3) 二輪自動車類	17億円	2.1倍			(3) お茶	36百万円	+61.5%
	減少品目	(1) 電池	73百万円	▲33.0%		減少品目	(1) 鉄鋼	—	全減
		(2) ポンプ及び遠心分離機	3億円	▲6.5%			(2) 木材及びコルク	0.3百万円	▲99.9%
		(3) 重電機器	24百万円	▲5.7%			(3) プラスチック	7億円	▲19.3%
主要地域増減	EU、アジア、アメリカが増加			主要地域増減	アジアが増加、EUは減少				

4. 静岡空港

輸出入実績なし